

放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和3年 3月 1日

事業所名 スタジオそら網島

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切であるか	6	1	1	利用定員は法令上は適切。予約の段階で子どもの組み合わせを考えて、適したスペースが確保できるよう人数の調整をしている。
	②	職員の配置数は適切であるか	5	2	1	適切な人数を配置している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	0	4	4	階段が急であったり、段差があったりと構造上配慮が難しいところがあるが、危険箇所を共有しスタッフ全員で今後も安全管理に努めていく。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクルに広く職員が参画しているか	6	2	0	一部の職員で進めることが多い為強化が必要。
	⑤	保護者向け評価表を活用するため等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向を把握し、業務改善につなげているか	7	1	0	保護者のニーズを把握して改善に努めていく。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	3	0	ホームページにて公開している。
	⑦	第三者評価による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	3	4	第三者評価は行っていない。
	⑧	職員の資質の向上のために、研修の機会を確保しているか	6	2	0	内部研修の機会が少ないため、スタジオ内での研修を随時実施している。外部の研修にも積極的に参加していきたい。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	0	1	放課後等デイサービスのお子さんについては、まだ明確なツールがないため、保護者様からの聞き取りや体力テストを実施して参考にしている。支援の充実化を図る。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	2	1	放課後等デイサービスのお子さんについては、まだ明確なツールがないため、保護者様からの聞き取りや体力テストを実施して参考にしている。支援の充実化を図る。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	1	1	朝礼・昼礼で内容の共有を行っている。個人で立案することも多いが、今後も意見交換をしながら全体で共有できるよう努めていく。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8	0	0	お子様が飽きないよう、引き続き工夫していく。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか	4	4	0	祝日や長期休暇には、季節のイベントや、課外活動などを実施している。ニーズに応じて企画していく。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	2	0	部屋の構造上や時間割の関係で、個別と集団に分けて組み合わせることは現状では難しい。必要に応じて集団の活動を取り入れていく。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8	0	0	朝礼・昼礼時に実施。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	8	0	0	終礼時に時間をかけて情報共有している。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8	0	0	担当者が固定されていない分、簡潔且つ分かりやすい記録の書き方を随時研修等を実施して共有していく。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	8	0	0	個別支援計画書やモニタリングなど、極力複数名で実施し、職員全員で確認して情報共有している。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	2	0	引き続き支援の充実化を図る。

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7	1	0	管理者や児童発達管理責任者が主に参画している。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時対応、トラブル対応）を適切に行っているか	5	2	1	必要に応じて連携を行っている。保護者のニーズに応じて他機関との情報共有を強化していく。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2	4	2	該当児童なし。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所との間で情報共有と相互理解に努めているか	1	6	1	実施機会なし。今後必要に応じて対応していく。
	24	学校卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供しているか	1	4	3	実施機会なし。今後必要に応じて対応していく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	4	2	モニタリング時に情報共有を行っている。他機関との連携においては就学相談時は特に強化が必要。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	2	6	実施機会なし。今後保護者のニーズに応じて検討していく。
	27	地域自立支援協議会等へ積極的に参加しているか	3	2	3	管理者や児童発達管理責任者が主に参画している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8	0	0	定期的な面談の機会を設け、お子さんの情報共有に努める。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニングなどの支援を行っているか	2	2	4	ペアレント・トレーニングについては未実施。研修の開催など今後検討していく。
保護者への説明責任等	30	運営規定、支援の内容、利用者負担について丁寧な説明を行っているか	7	1	0	引き続き丁寧に説明していく。
	31	保護者からの子育ての悩みなどに対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7	1	0	フィードバック時以外でも、必要に応じて積極的に面談の機会を設ける。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催することにより、保護者同士の連携を支援しているか	0	3	5	今年度は実施機会なし。保護者のニーズに応じて検討していく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制や整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	1	0	迅速且つ丁寧に対応できるよう努める。
	34	定期的に会報等を発足、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	2	1	待合室に掲示をしたり、メールなどで事前に周知している。
	35	個人情報に十分注意しているか	8	0	0	引き続き注意していく。
	36	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8	0	0	ニーズに応じて引き続き配慮していく。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	4	3	地域の行事への参加を検討していく。
非常時の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	7	1	0	定期的に研修を実施している。保護者への周知に関しては強化が必要。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか	7	1	0	定期的に訓練を実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7	1	0	定期的に研修機会を設け、確認していく。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて組織的に決定し、子ども・保護者に事前に十分説明し了解を得たうえで計画に記載しているか	7	1	0	該当児童なし。
	42	食物アレルギーのある子どもについて医師の指示書に基づく対応がされているか	6	0	2	食物アレルギーの確認はしているが、食事の提供はしていない。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7	1	0	終礼時に共有している。

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。